



**6月定例会**

決まったこと	2~4頁
一般質問	5頁
委員会審議	6~11頁
議会インタビュー	12~13頁
議会のうごき	14頁

# 6月定例会

6月15日  
～25日



**提案理由の説明**  
議案提出者(町長)が、提案理由を説明します。

6月15日本会議

## 補正予算など19案件を承認・可決

### 条例の制定・改正

#### ◆税条例の一部改正

地方税法等の改正に伴う改正で、主な内容は、次のとおりです。

◆年金所得者における寡婦(寡夫)控除の申告手続きの簡素化(関連質問が10頁に掲載)

◆住宅用地の固定資産税負担調整措置について、据え置きとなる負担水準の下限が0.8から0.9に引き上げられます。

(3月31日専決処分)

#### ◆暴力団排除条例

暴力団が町民生活や社会経済活動に介入し、町民等に脅威を与えている状況から暴力団の排除に関する事項を定める条例を制定しました。

#### ◆印鑑条例等の一部改正

外国人住民を住民基本台帳法の対象とする法改正に伴い、関連する町印鑑条例などの一部を改正しました。

#### ◆課設置条例の一部改正

4月1日から、「地域創造課」と「人権課」を廃止しました。業務はそれぞれ企画課、商工観光課、総務課が引き継ぎます。

(3月30日専決処分)

### 補正予算

#### ◆平成23年度一般会計

事務事業が完了し、不用額の減額や歳入(地方交付税・国県支出金・町税など)の確定を行い3億1563万3千円を追加補正し、平成23年度の一般会計歳入歳出総額を84億4026万3千円としました。

#### ◆平成24年度一般会計

◆補正第1号は、道路橋りょう災害復旧費(大惣吉田線)の補正で、670万円の追加補正です。

◆補正第2号は、主に鳥獣被害防止対策事業(防止柵、捕獲檻)100万円、基盤整備促進事業(田井地区の排水路整備)900万円、及び県単治山事業(3地区)700万円等の補正で、9216万円の追加です。

#### ◆平成24年度特別会計

◆国民健康保険(事業勘定)事業の補正は、主に医療費適正化特別対策事業128万7千円等で267万2千円の追加です。

◆国民健康保険(施設勘定)事業の補正は、八千代診療所の廃止によるもので、1534万円の減額です。

◆介護サービス事業の補正は、百寿荘の人事異動に伴う人件費で、236万2千円の追加です。



6月15日本会議

□ 専決処分とは、議会の権限に属する事項について町村長が議会にかわって意思決定を行うことです。法律の規定による場合と議会の委任による場合があります。

□ 条例は、地方公共団体が法律の範囲内で当該自治体の事務に関して、議会の議決により制定する自主法の一つです。

◆町並み修景事業

(旧臼井邸修景工事)

国土交通省の社会資本整備補助金を活用して、町が平成22年に取得した旧臼井邸景観保存のための修景工事を行います。

また、修景に併せて、この施設を広く町民の方々に利用していただけるよう整備し、親子連れの若い方々も気楽に利用していただけるよう、授乳室や子供向けの絵本・遊具等も設置する予定です。

地方自治法等の規定により、町村においては5千万円以上の請負契約には議会の議決が必要です。

◆公共下水道事業

(大須賀ポンプ場)

機械設備(二期工事)

大須賀ポンプ場は、周辺地域の浸水対策として雨水を揚水し河川に放流する施設です。

今回、揚水能力を上げるため、スクリーンポンプ(既存1台)の2台目を設置します。



契約の方法	指名競争入札
契約金額	1億4,070万円
契約の相手方	(株)電業社機械製作所 四国営業所 所長 山元裕治

契約の方法	指名競争入札
契約金額	5,470万5千円
契約の相手方	(有)柴田組 代表取締役 柴田稚樹

平成23年度一般会計繰越明許費

事業名	繰越金額
町並み修景事業	500,000円
道整備交付金事業(林業費)	52,610,000円
道路新設改良事業	9,765,000円
道整備交付金事業(道路橋りょう費)	23,106,000円
地すべり対策事業	11,599,000円
林業用施設災害復旧事業	61,640,000円
道路橋りょう災害復旧事業	36,192,000円
義務教育施設災害復旧事業	154,853,000円
合計	350,815,000円

繰越明許費

「くりこしめいきよひ」とは、その性質上または予算成立後の事由により、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、予算を定めることで翌年度に繰り越して使用することができるとする経費です。(関連質問を9頁に掲載)

委員会報告

委員会に付託された事件(議案等)の審査・調査が終了すれば、その結果報告書を委員長から議長に提出します。議長はこの審査・調査の結果と結果について、委員長に口頭報告を求め、質疑・討論・採決を経て、その事件の本会議における意思決定がなされます。

委員長の口頭報告(委員長報告)のようす  
(6月25日 本会議)



三好昭義委員長  
総務  
常任委員会



長浦英彰委員長  
産業建設  
常任委員会



西谷一廣委員長  
文教厚生  
常任委員会

平成23年度半田病院事業決算



▲全員協議会(6月25日)  
▼工事中の南病棟(7月2日)



追加議案の詳細説明及び半田病院事業の決算報告が行われました。

平成23年度病院事業経営は、南病棟耐震化改築工事の影響を大きく受けたものの、医業利益・経常利益を確保することができました。しかし、旧病棟の取り壊しに伴い資産帳簿価額を除却するため特別損失に計上したことから、赤字決算となりました。

	平成23年度	平成22年度	比較
医業収益(入院・外来等)	2,235,041,000円	2,204,070,000円	30,971,000円
医業費用(給与・経費等)	2,162,855,000円	2,132,369,000円	30,486,000円
<b>医療利益</b>	<b>72,186,000円</b>	<b>71,707,000円</b>	<b>485,000円</b>
医業外収益(補助金・交付金等)	95,676,000円	84,665,000円	11,011,000円
医業外費用(支払利息・雑損失等)	19,927,000円	19,197,000円	730,000円
<b>経常利益</b>	<b>57,935,000円</b>	<b>47,169,000円</b>	<b>10,766,000円</b>
特別利益	4,467,000円	5132,000円	△665,000円
特別損失(旧病棟除却費等)	214,211,000円	8,955,000円	205,256,000円
<b>差 引</b>	<b>△151,809,000円</b>	<b>43,346,000円</b>	<b>△195,155,000円</b>

5月臨時会  
診療所条例廃止など3案件を可決

5月8日開催



条例の廃止及び一部改正

国民健康保険診療所(八千代診療所)の6月1日廃止に伴い、関係する条例の廃止と一部改正を行いました。

町営の八千代診療所は廃止になりますが、建物等は改修後民間へ貸付され、6月27日から診療が開始されています。

工事の請負契約

◆文教施設災害復旧事業  
つるぎ町立半田幼稚園・中学校災害復旧工事  
半田幼稚園・中学校グラウンド下の災害復旧工事の請負契約について、次のとおり議会で可決しました。

契約の方法	指名競争入札
契約金額	1億4,941万5千円
契約の相手方	(株)松考建設 代表取締役 松考 浩

# 町政のこころが聞きたい

6月15日開催

**問** 薬草栽培で農業振興・町活性化を図ってはどうか

**答** 県内でいち早く「ミシマサイコ」の栽培を導入している。

**質問** 吉田光子議員



近年、漢方薬の効果が見直され、原料である生薬の需要が急速に伸びており、これに呼応して、これまで中国からの輸入に依存してきた国内で薬草栽培に取り組む地域が増加している。

本町においても、気候・環境に適し、さらに安定した収益が得られる薬草の試験栽培等を行い、農業振興・町の活性化を図ってはどうか。

**答** 兼西町長

中山間地域である本町の農業・農村では、農業従事者の減少・高齢化等による担い手不足やこれに伴う耕作放棄地の増加、また有害鳥獣の被害

拡大等の問題が深刻化してきている。

こうした中、本町では軽量作物で野生鳥獣の被害も受けにくく、高齢者でも栽培可能な薬草「ミシマサイコ」の栽培を県内でもいち早く、平成21年度より初めている。

株式会社ツムラと契約栽培しており、平成23年度実績は、作付戸数12戸、作付面積50アール、出荷量44キログラム、販売金額は28万円で乾燥後キ口当たり単価が6360円となっている。

キ口当たりの単価が高い反面、ミシマサイコは発芽率が悪く、また夏場の除草作業や収穫後の洗浄、乾燥、異物除去作業など規格管理に手間が非常にかかり、栽培開始から4年目になるが、年々栽培面積は減少傾向にある。

今後、栽培講習や情報収集を行い、安定した収入が期待できる薬草栽培を目指し普及推進してまいりたい。

**問** 危険箇所の点検・補強等で災害未然防止を

**答** 防災計画の見直し等でさらなる安心安全努力を行う。

**質問** 吉田光子議員



梅雨時期を迎え、急峻な地形と河川を有する本町住民の安心安全確保のため、常に危険箇所の点検・補強など防災対策の充実強化に努めていただきたい。

**答** 兼西町長

本町は山間地が大半を占め急峻で地質的にも脆弱であるため、土砂

災害が発生しやすい厳しい自然状況下であり、昨年度は集中豪雨と4度の台風襲来により、幸いにして人的被害はなかったが、公共施設災害等が50箇所、崖崩れや地すべりが15箇所被災を受けた。

土砂災害等の点検や対策については、毎年6月に県、町、警察、消防等による町内の土砂災害危険箇所点検パトロールを実施しており、今年度は9箇所の点検を行い、危険と判断

された箇所について県に改善要望を行っている。

また、担当課では週3回程度、地区別に町道や土砂災害危険地域等において日常の点検パトロールを実施し、小規模なものについては、町単維持工事と県単補助事業で対応し、大規模なものについては、県営事業による対策が講じられている。

このほか、作業班による草刈りや側溝・暗渠の清掃などにより、土砂災害等の未然防止及び減災に努めている。また、平成18年度より土砂災害防止のため県と町が協力し町内全域の危険渓流、急傾斜地、地滑りの調査を順次おこなっており、調査結果を基に土砂災害危険箇所説明会を開催しながら土砂災害に関する防災知識の普及と啓発を行っている。

今後、調査結果を利用し、町防災計画の見直し等、災害時の避難体制の整備をおこなうと共に住民が安全で安心出来るまちづくりを推進していく所存である。

# 委員会での審議

## 文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会では、主に教育・福祉・保険・病院等に関する議案を審査します。

6月18日開催

- 委員長 西谷 一廣
- 副委員長 森長 秀行
- 委員 石本 貞夫
- 委員 吉田 光子
- 委員 尾関 伸也
- 正副議長 小坂 重夫
- 伊庭 英俊

### 幼児等医療費助成

小坂重夫議長

乳幼児医療費について、現在、小学3年生までを対象として県から町へ補助金が交付されているが、平成24年10月から、対象が小学6年生まで拡大されることに伴い、本町の助成を中学校3年生まで拡大することを検討してはどうか。

兼西町長

遅くとも新年度から実施出来るよう、関係課等と協議を行っていく。

### 後期高齢者医療制度

小坂重夫議長

この制度の今後のあり方について、広域化(四国4県)の動きはあるのか。

吉本保険課長

現時点においては、後期高齢者医療広域連合から広域化について聞いていない。



### 成年後見人支援制度

尾関伸也委員

この支援制度の内容と利用状況は。

笠原福祉課長

この制度は、成年後見の申し立てを本人又は親族の方々が出来ない場合、町長が代わって申し立てる制度である。平成23年度は、1件申立を行った。

### 高齢者生活福祉センター百寿荘

石本貞夫委員

百寿荘のデイサービス及び入居状況はどうか。

上野百寿荘所長

平成23年度実績では、デイサービスの延べ利用者数が2836人、前年度比8・2%(215人)増であった。また、現在の入居者数は、6名である。

### 障害福祉サービス

尾関伸也委員

障害福祉サービス事業の今後の取り組みは。

笠原福祉課長

障害者自立支援法等によるサービスの充実、また、平成25年8月までに「障害者総合福祉法」(仮称)が新しく施行される方向で進んでおり、障害者の方々へのサービスは今後更に充実して行くものと想定される。

これに伴い、制度の整備や新しいサービス等による対応が必要となり、町としても障害者の方々に充実したサービスが提供できるよう対応していきたいと考えている。

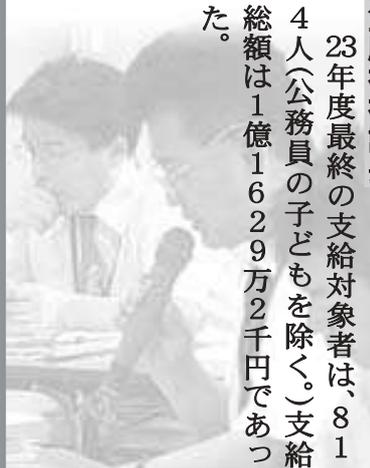
### 子ども手当対象者数は

吉田光子委員

平成23年度の本町における対象者数と支給総額はどのくらいか。

笠原福祉課長

23年度最終の支給対象者は、814人(公務員の子どもを除く。)支給総額は1億1629万2千円であった。



## ワクチンの公費助成

吉田光子委員

町が医療費を助成しているワクチン(減額補正分)の内容と平成23年度接種実績は。白井保健センター所長

このワクチンは4種類であり、まず高齢者インフルエンザワクチンの内容は、65歳以上の方を対象として、1人当たり2700円の助成(個人負担1300円)であり、対象者4204人の内2315人が接種された。

子宮頸がん予防ワクチンは、中学1年生から高校2年生までの女性が対象で、3回接種(中学2年生以上は、ほとんど2回接種済み)となり対象者は203人であり、23年度接種総数は269回であった。

ヒブワクチン(髄膜炎・敗血症予防)及び小児用肺炎球菌ワクチン(髄膜に細菌の侵入を防ぐ)は、生後2ヶ月から5歳未満の乳幼児が対象であり、接種回数(標準はそれぞれ各4回であるが、接種開始年齢により1回〜3回になる場合もある)。

23年度の対象者はそれぞれ252人であり、接種総数がヒブワクチン229回、小児肺炎球菌291回である。

なお、子宮頸がん予防ワクチン1回当たり16000円、ヒブワクチン7500円、小児肺炎球菌ワクチン10000円であり個人負担はない。



## 小学校施設整備事業債

吉田光子委員

この地方債の減額理由は。

市原学校教育課長

本年度事業実施する貞光小学校体育館耐震改修工事において、補助金が増額となったため、地方債借入額を減額した。

## 遊具はどうするのか

吉田光子委員

半田幼稚園で現在使用禁止になっている遊具は、工事後新しく取り替えるのか。

市原学校教育課長

現在、災害復旧工事のため遊具の使用を制限しており、幼稚園には迷惑をおかけしているが、工事完了の来年2月頃には遊具の再点検及び修繕をし、配置換えもする予定である。

## シルバー学園

吉田光子委員

指導員はどのような職務を行っているのか。

藤田シルバー学園長

合同学習等、学園運営の助言にあたりもらっている。

また、新しい指導員は音楽教育の経験者であるので、学園の歌声クラブの指導や合同学習の音楽指導などに技能を発揮してもらっている。

## 放課後児童健全育成費

小坂重夫議長

この事業の指導員とは。

市原学校教育課長

半田・貞光放課後児童クラブ(げんきっこ)の臨時職員で、幼稚園から小学3年生までの児童を放課後預かっており、特に資格は有していない。



# 産業建設常任委員会

産業建設常任委員会では、主に農林・建設・観光・環境・水道・地籍等に関する議案を審査します。

6月19日開催

- 委員長 長浦 英彰
- 副委員長 谷川 真角
- 委員 佐藤 政正
- 委員 田村 昭仁
- 委員 齊藤 嘉文
- 正副議長 小坂 重夫
- 伊庭 英俊

## 公共下水道事業

谷川真角副委員長

最終的な事業費はどのくらいか。

浦環境課長

平成24年度末で管路工事、下水処理施設は完成する。雨水ポンプ場についても2系統までは完成し、この時点での事業費は約51億円になる。

また、将来的に雨水ポンプを3系統にした場合は、事業費が約54億円になる見込み。

小坂重夫議長

現時点での下水道接続戸数は。

浦環境課長

平成24年3月末現在、下水道計画区域内の戸数は1096戸で、このうち894戸について平成23年度に供用を開始し、712戸が下水道に接続済みである。接続率は79.8%である。



## 合併浄化槽補助制度

谷川真角副委員長

昨年度の補助実績と、平成20年度以降の補助実績は。

浦環境課長

平成23年度の補助実績は22基で、平成20年度が29基、平成21年度が32基、平成22年度が27基であった。

## 緊急雇用創出事業

小坂重夫議長

労務班賃金に、緊急雇用創出事業の活用はないのか。

木下建設課長

既存4名の労務班員賃金についてこの事業を活用した。なお、この事業は平成23年度で終了した。

## 緊急雇用創出事業

現下のきびしい雇用失業体制に対処するため実施されている事業で、離職を余儀なくされた方に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供するものです。(平成23年度までの期間限定事業)

## 橋りょう点検の結果

小坂重夫議長

橋りょう点検の結果と今後の補修計画は。

木下建設課長

平成23年度に、205橋(15m以上の橋梁40橋及び15m未満の橋梁165橋)の点検を行った。結果、損傷無しが37橋、局部的に軽微な損傷が発生しているものが103橋、全体的に軽微な損傷が発生しているものが23橋、局部的に著しい損傷が発生しているものが4橋、全体的に著しい損傷が発生しているものが20橋、その他路面の補修等が必要なものが18橋であった。

平成24年度は橋梁長寿命化計画を策定し、平成25年度からはこの計画に基づいて順次補修していく予定である。

## 森林間伐実施事業

小坂重夫議長

本年度の事業計画は。

平松農林課長

事業量47ヘクタールを予定している。また、本年度より間伐実施事業にあたっては、森林経営計画に参画されている森林において実施し、1ヘクタール当たり10立方メートル(材積)以上の間伐材の搬出が義務づけられている。

災害復旧工事二次災害

田村昭仁委員

大惣吉田線の災害復旧中に山腹崩壊したため、国・県へ工事変更の申請中だと思うが、要望通り許可される見通しか。また、補正に計上されている災害復旧費の内訳は。

山本半田支所建設課長

国交省へ工事変更の申請に行き、変更については許可されたが工法については再検討されている。計上している災害復旧費670万円の内訳は、国交省への旅費、調査ボーリング等の委託料及び山腹崩壊による土砂の取り除き等の工事費である。

剣山木綿麻温泉事業

谷川真角副委員長

平成23年度の利用者数と近年の推移は。

村上商工観光課長

利用者は35360人で、平成11年のオープン時の利用者数46760人に比較すると大幅に減少しているが、ここ数年間は、3万5千人前後で安定している。



繰越明許費

田村昭仁委員

今回の繰越理由の説明を。

木下建設課長

今回の繰越事由については、

- ① 林道費 道整備交付金事業(4路線)
- 昨年の台風により施工箇所前が被災を受け、復旧に相当な時間を要し資材の搬入が困難であるため。(3路線)

○ 県からの補助決定が遅れ発注が遅延したため。(1路線)

② 道路新設改良事業(白石線)

○ 用地境界の調整に時間を要したため。

③ 道路橋りよう費 道整備交付金事業(2路線)

○ 用地境界の調整に時間を要したため。

④ 県単急傾斜崩壊対策事業(7箇所)

○ 施工方法等、県との協議に不測の日数を要し発注が遅滞したため。(半田地区3箇所)

○ 長雨や積雪のため。(貞光地区4箇所)

⑤ 林業用施設災害復旧事業(4路線)

○ 積雪のため資材の搬入困難となったため。(2路線)

○ 県との実施設計協議に不測の日数を要したため。

(2路線)

⑥ 道路橋りよう災害復旧事業(8路線)

○ 工事箇所への進入路等の用地交渉に不測の日数を要したため。(2路線)

○ 他に発注している工事との工事工程調整に不測の日数を要したため。(6路線)

以上の事由により、年度内完了が困難となり翌年度に繰り越した。

障害者雇用について

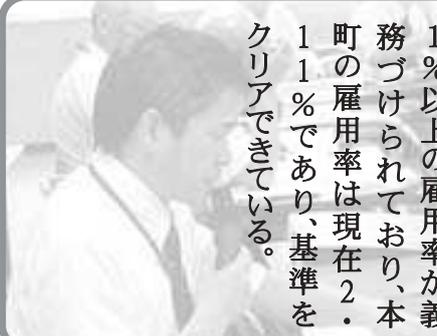
田村昭仁委員

障害者雇用促進法では、国・地方公共団体・民間企業に一定割合以上の身体・知的障害者の方を雇用するよう義務づけている。

また、一定以上雇用しなかつた場合は、従業員200名を超える企業から原則月5万円の納付金を徴収している。本町は、この雇用率を満たす雇用ができていますか。

中川総務課長

地方公共団体は、2.1%以上の雇用率が義務づけられており、本町の雇用率は現在2.11%であり、基準をクリアできている。



# 総務常任委員会

総務常任委員会では、主に戸籍、税務、防災、管財、出納、そのほか他の2つの委員会(文教厚生・産業建設)に属さない議案等について審査します

6月20日開催

- 委員長 三好 昭義
- 副委員長 田野 一二三
- 委員 荒井 匡代
- 小坂 重夫
- 上家 洋子
- 伊庭 英俊

委員会審議

## 町並み修景事業

小坂重夫委員

減額補正されている理由は。また、この事業のこれまでの成果と今後の取り組みについての考えは。

古林企画課長

うだつの町並みの中に在る個人の住宅で、町景観基準に沿った改修工事等を行う場合、町が工事費の一部を助成する事業。23年度については要望がなかったため予算を減額補正したものである。

また、町並み修景事業は、平成10年度に旧貞光町において「町並み保存条例」を制定以来、28棟のうだつを有する建築物のうち、17棟の修景事業を完了した。

町並みは有望な観光資源であり、美しい景観を後世に継承していくため、今後この事業を継続して行っていきたいと思っている。



## 増税の影響は

小坂重夫委員

たばこ税収入について、増税の影響はあったか。

浦税務国保課長

収入状況は、平成22年度決算で3943万円、平成23年度決算見込みで4692万8千円であり、平成23年度は22年度に比較して749万8千円増収となる見込みである。

平成22年10月の改正(増税)で、消費本数は減少していると思われるが、税収自体は増加という結果である。

## 税条例の一部改正

小坂重夫委員

この改正で、年金所得者の寡婦(寡夫)控除がなくなるということか。

浦税務国保課長

年金所得者においては、所得税の申告時に寡婦(寡夫)控除の申告が加えられたことで、町申告時に改めて申告の必要はないということである。

## 旧うらら荘跡地

伊庭英俊委員

建築や操業の期限等は設定しているのか。

古林企画課長

購入後、最長3年以内に操業開始していただきたいという条件を付けており、1箇所については、9月頃から建設に着手する予定と聞いている。

## 排水について

三好昭義委員長

土地の排水については、周辺住民の方に迷惑がかからないよう熟慮していただきたい。

古林企画課長

土地の両側に水路を設置しており、今後慎重に対応していきたい。

### 印鑑条例の一部改正

三好昭義委員長

条文の中で、「外国人住民である者が、法第30条の45の表の上欄に掲げる者でなくなったとき（日本の国籍を取得したときを除く。）」とは、どういうことか。

土井住民課長

帰国等により中長期在留の資格がなくなった場合、印鑑登録を削除するということで、ただし、帰化等により日本の国籍を取得した場合は、その資格を継続するということである。

### 国民健康保険事業

小坂重夫委員

普通調整交付金について、国庫補助金が87万2千円に対して、県補助金が892万6千円となっているが、国の補助額の方が県の補助額より少ないのか。

浦税務国保課長

普通調整交付金の平成23年度総額では、国補助金が1億1581万8千円、県補助金が4422万6千円で国庫補助金の方が多くなっている。

普通調整交付金

国民健康保険法に基づき、市町村間における財政力の不均衡を調整するため、国及び都道府県から市町村へ補助金として交付されるものです。



### 繰越明許費

小坂重夫委員

繰越対象となる事業の内容は。

古林企画課長

町並み修景事業で、平成23年度に希望がなかった、うだつの町並みに在る個人住宅の修景工事について、24年度に工事を希望する方がいるため、予算を繰り越して事業を行う予定である。

### 土地開発公社

三好昭義委員長

現在取得している土地はないのか。また、土地開発公社の今後のありかたについてどう考えるか。

古林企画課長

土地開発公社として現在取得している土地はない。

事業があれば即座に動ける体制でいるが、景気の冷え込みや厳しい地方財政の状況を勘案すると、土地開発公社を介して用地を先行取得する意義が希薄になってきていると考えている。

### 八千代診療所

小坂重夫委員

診療所の貸付前後で、診療日数の変化はあるか。

逢坂課長

診療日については、半田病院の診療体制が変更になった平成22年7月1日から、24年6月1日の廃止までは、毎週1回、平日の木曜日が診療日となっていた。

また、貸付後の6月27日の診療開始以後は、毎週1回、平日の水曜日が診療予定日となり、週1回の診療日数は変わっていない。



▲全員協議会のようす 5月8日

# 町民の絆



「しゃくなげ産直市」  
を地元へ開設  
つるぎ町生活改善推進協議会  
一宇グループの皆さん

インタビュー

田村 昭仁 議員

平成24年7月8日(日)、生活改善推進協議会一宇グループ(上家洋子会長、会員約58名)がつるぎ町一宇字赤松(つるぎの宿岩戸)前の国道438号沿いに直売所「しゃくなげ産直市」を開設されたので、方針や目標などをインタビューしました。(営業は日・祝日午前10時から午後5時)

◇この産直市はどのような趣旨で開設されたのですか。

♡過疎・高齢化が進行する一宇地区では、現在これといった「観光名所」のようなものはありません。

そこで、会員の皆さんと相談し、手作りだんご等加工品や新鮮野菜などの地元産品を販売する直売所を開設しようということになりました。

将来ここが地産地消や地域活性化の拠点の一つとなればと思っています。



◇内装なども会員の方の手作りと聞きましたか。

♡建物は会員の方の好意で無償で貸していただいています。また、内装等も会員や住民の方々に協力していただきました。

◇「しゃくなげ産直市」という命名の由来は。

## 元気！

### に取り組む住民の皆さん

♡一宇地区には、樹齢3百年以上の木があるという「しゃくなげ群生地」があります。また、住民の方が20年以上かけて整備してきたシャクナゲ園「ローディの森」もあり、一宇に大変ゆかりのある木ということ、この名前をつけました。

◇運営にかかる費用などはどのようにされるのですか。

♡運営は会員の方がボランティアでしてくれませんが、光熱費等については委託販売手数料を5%いただき、その中から工面したいと思っています。

◇この産直市に出品できるのは生活改善推進協議会会員の方だけですか。

♡そうです。会員の方が、地元の農産品や加工品を出品してくれています。

◇一宇グループの会員数は58名ということですが、平均年齢は。

♡最年長の方が85歳で、平均年齢は約70歳です。

◇今後の目標などは。

♡高齢者の町内会員の方にも、少量でも農産品を出品していただくことで、楽しみや健康増進になればと思います。

♡集まって話をするだけ

でも楽しいですが、観光客の方にも利用していただき、地元産品だけでなく、一宇の良さや魅力を知っていただきたいなと思います。

♡会員も高齢化していますが、皆で協力して運営を軌道に乗せ、少しでも長く続けていきたいと思っています。

♡若い方々にも、昔ながらの手作りのだんごや味噌等を継承していきたいらと思っています。

◇皆さんが、地域の活性化に前向きに取り組んでおられることが大変すばらしいと思います。健康第一ですので、お体に気をつけてこれからも皆さんお元気で頑張ってください。



## 堤防を 花いっぱいにする

つるぎ町連合婦人会  
貞光支部の皆さん

インタビュー

三好 昭義 議員

国道192号の貞光交差点から道の駅貞光ゆうゆう館前までの吉野川堤防沿い約100mに毎年サルビアやコスモス、水仙などが咲きほころびるのを目にされたことがあると思います。これらの花を植栽されている、つるぎ町連合婦人会貞光支部のボランティアの皆さんに、植栽のお手伝いも兼ねてインタビューさせていただきました。

◆いつ頃から堤防沿いに花を植栽されているのですか。

♡平成5年の東四国国体の際、旧貞光町の玄関口にあたる堤防にサルビアの花を植栽したのがきっかけです。

◆約19年前ですね。いままでどのような花を植えられましたか。

♡サルビアの次がパンジー、コスモス、水仙、そして今植えている芝桜です。どれもなかなかうまく育たなくて、試行錯誤の繰り返しです。

◆花が毎年美しく咲き続けるよう

に育てるのは大変だと思いますが、どのような苦労がありましたか。

♡範囲が広いので、なるべくコストがかからないように毎年咲く花を試行錯誤して育ててきました。

♡キバナコスモスもこぼれ種で毎年咲きましたが、次第に草丈ばかり伸びてきれいでなくなってきたので、5年で今の芝桜に植え替えました。

♡大雨が降った後は笹箒で流れ落ちた土を1時間以上かけて元



## 地域を

### ボランティアで地域活性化

に戻します。土が流れて石ころが目立つようになって弱っていました。今年町がブロックで土止めをしてくれたので、また花作りを頑張りたいなと思っています。

◆花づくりもなかなか大変ですね。ところで、現在の活動はどのようにされているのですか。

♡毎月2回、第2と第4土曜日に集まって、花の手入れをしています。

◆朝何時からですか。

♡夏は6時から、冬は7時30分からです。

◆朝が早いから、大変でしょう。

♡そうですね。家事もありますし、6時に集合は少し大変な時もあります。

◆植栽をして何が一番楽しみですか。

♡植え終わったあとの、会員のみなさんとの食事が一番の楽しみです。

(笑)

◆さて、今回竹や竹チップを使って手入れしてみようですか。

♡土止めや、竹のチップ投入など本



格的な作業方法を教えていただき、当初からこうすれば良かったなと思いましたが、女性だけだと何本もの竹を運んできた、割って土止めにしたりするのは無理ですね。

今後は、この芝桜が堤防を絨毯のように飾るのを楽しみに手入れを続けたいです。

◆喜んでいただけて嬉しいです。来年もつ一度手を加えて、さらに芝桜の絨毯を広げましょう。

夏の水やり、草むしりとこれから大変だと思いますが、皆さん体に気をつけて町を彩ってください。

## 第21回徳島県町村議会議員研修会



小坂重夫徳島県町村議会議長会長挨拶

### 議会の動き

- 4月 26日 ◆ 全国町村議会議長会  
◆ 町村議会議員公務災害補償等組  
合理事会
- 5月 8日 ◆ 全員協議会  
◆ 第1回つるぎ町議会臨時会
- 18日 ◆ 第21回徳島県町村議会議員研修会
- 24日 ◆ 徳島県市町村振興協会理事会
- 29~30日 ◆ 第37回全国議長・副議長研修会
- 6月 8日 ◆ 議会運営委員会
- 15日 ◆ 全員協議会  
◆ 第2回定例会開会本会議
- 18日 ◆ 文教厚生常任委員会
- 19日 ◆ 産業建設常任委員会
- 20日 ◆ 総務常任委員会
- 25日 ◆ 全員協議会  
◆ 閉会本会議
- 7月 4日 ◆ 全国町村会正・副会長との意見  
交換会

平成24年5月18日(金)、美波町コミュニティホールにおいて徳島県町村議会議員研修会が開催され、県下の議会議員が出席しました。

研修では、ジャーナリスト長谷川幸洋氏の「激動する政局の行方」と元全国都道府県議会議長会議事調査部長で、長年議会に関わってこられた野村稔氏の「地方議会の運営と改革」と題した講演を拝聴し、今後の議会活動に大いに参考になりました。

### 編集後記

ロンドンオリンピック開催が間近に迫りました。本県からは三好市出身の細田雄一選手が男子トライアスロンの部に出場しますが、これまでの練習の成果をいかに発揮していただきたいと思います。

開幕の頃には梅雨も明けて欲しいものですが、今年の梅雨は台風の影響などもあって各地に大きな被害をもたらしています。

「天災は忘れた頃にやってくる」といいます。震災の風化とともに防災意識も低下しがちです。日頃の用心を忘れないようにしたいと思います。

平成24年7月13日

吉田 光子